

歴史を塗り替えた ― 県新人体育大会女子バドミントン部団体戦優勝(初) ―

沖縄県の高校バドミントン界初、本校の部活動の歴史上でも初の快挙を「歴史を作った」という表現も考えましたが、ここはやはり、苦しい練習を乗り越え、チームワークよく撃破を重ねた本人たちへの最大の賛辞としてはライバルたちのさらに上を行ったという意味で「塗り替えた」にしました。

歴史を塗り替え、快挙を成し遂げた生徒らは、**団体優勝 九州大会派遣！！**
個人ダブルス優勝 金城涼乃(2年9組)さん、新垣瑠香(1年1組)さんペア九州大会派遣
個人ダブルス準優勝 伊敷妃菜美(1年1組)さん、金城未歩(1年2組)さんペア九州大会派遣
個人シングルス準優勝 金城涼乃さん九州大会派遣 が決定しました。
さらに、**ダブルス4位 大嶺花奈(1年2組)さん、奥間凜香(1年4組)さん**ペア
シングルス3位 伊敷妃菜美さん ベスト8 新垣瑠香さん が入賞しました。

試合を観戦した大神教頭先生曰く「彼女たちのすごいところは、ミスした後の気持ちの切り替えが早く、その後の果敢な攻めで自分たちのペースに持っていくところ」と勝因を分析、さらに「ギャラリーで(応援している)私を見つけた彼女たちが代わる代わる『ありがとうございます』と元気に挨拶をしにきてくれたことがとても嬉しかった。私も元気をもらいました」と手放しでの喜びを語ってくれました。



“沖水は男子校”のイメージをもたれている方がまだ多いような印象を受けますが、教育課程も部活動もちろん高い男女共学の理想を掲げています。また、生徒らもその使命を自分のものとして日々学習、部活動、各種資格・検定取得等に向けて頑張っています。

朝早くからラケットを振り、夏の暑い中体育館を閉め切りシャトルを追う姿、そして日頃の挨拶に見られる礼儀正しさと笑顔には、ひたむきに自己の目標に進む沖水女子のたくましくしなやかな美しさが現れています。

「歴史を塗り替えた」生徒たち、鳴りてし止まぬそのかいなと進取の翼をもって今後も歴史をさらに自分たちの手で厚く塗り替え、その気宇大海を吞んでください。